

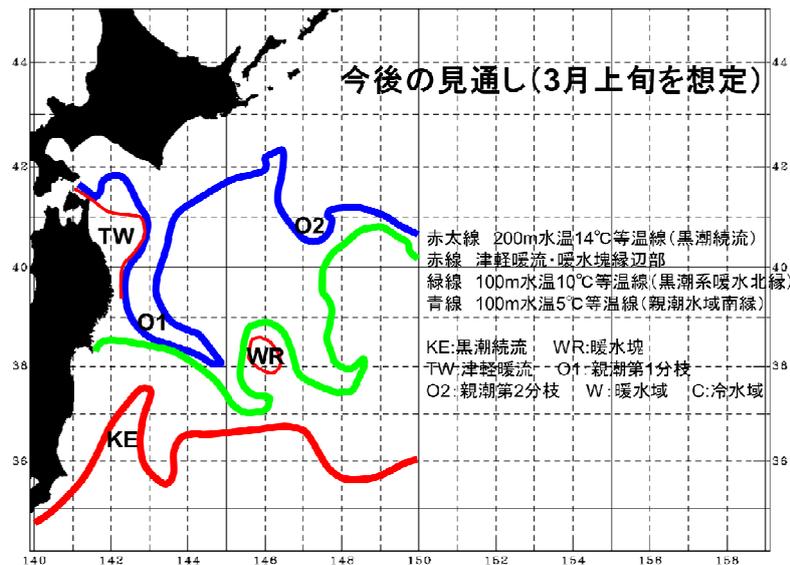


2020年度 第5回 東北海区海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(2021年2月下旬～2021年3月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はかなり北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移する。
- ・ 下北半島沖と黒崎はるか沖の暖水塊は消滅する。金華山沖に暖水塊が形成される。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
 担当：管理部門 杉崎、樽井
 海洋環境部 栗田、東屋
 電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250
 当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2020年度東北海区海況予報 第5号

《今後の見通し（2021年2月下旬～3月）》

近海の黒潮統流の北限位置はかなり北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移する。下北半島沖と黒崎はるか沖の暖水塊は消滅する。金華山沖に暖水塊が形成される。

《海況の経過（2020年12月～2021年1月下旬）の特徴》

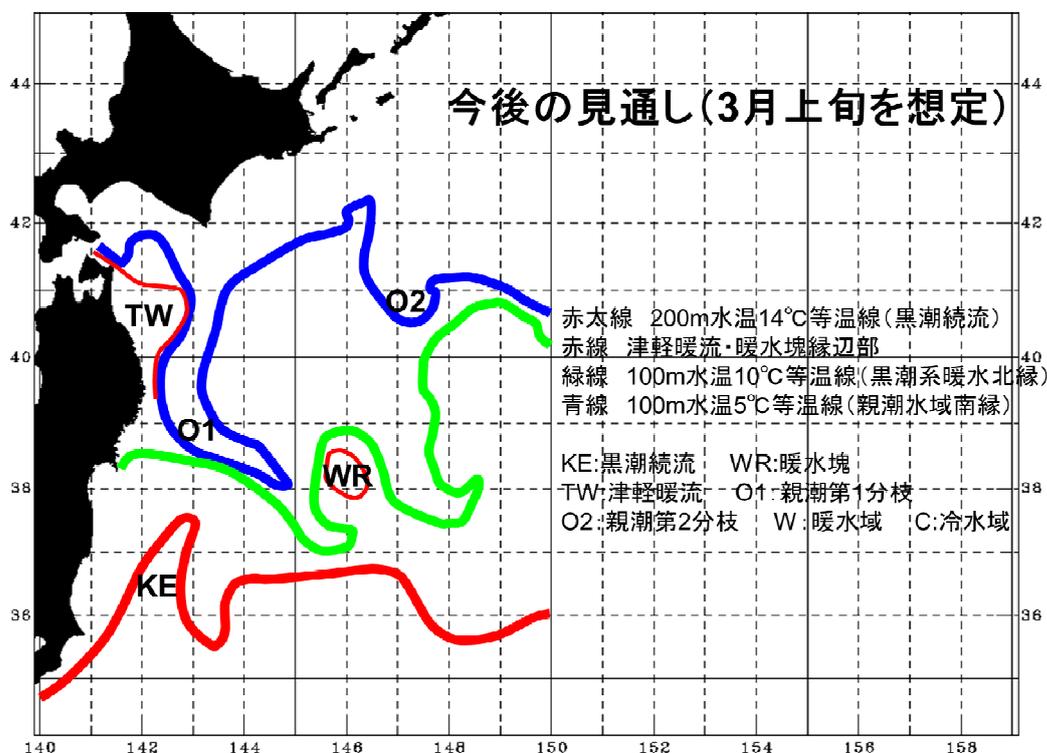
近海の黒潮統流の北限位置はかなり北偏～極めて北偏で推移した。親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏で推移した。下北半島沖と黒崎はるか沖の暖水塊は停滞した。三陸沖の暖水塊は消滅した。

《現況（2021年1月下旬～2月上旬）の特徴》

近海の黒潮統流の北限位置は極めて北偏、親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏～極めて北偏である。暖水塊が下北半島沖と黒崎はるか沖にある。

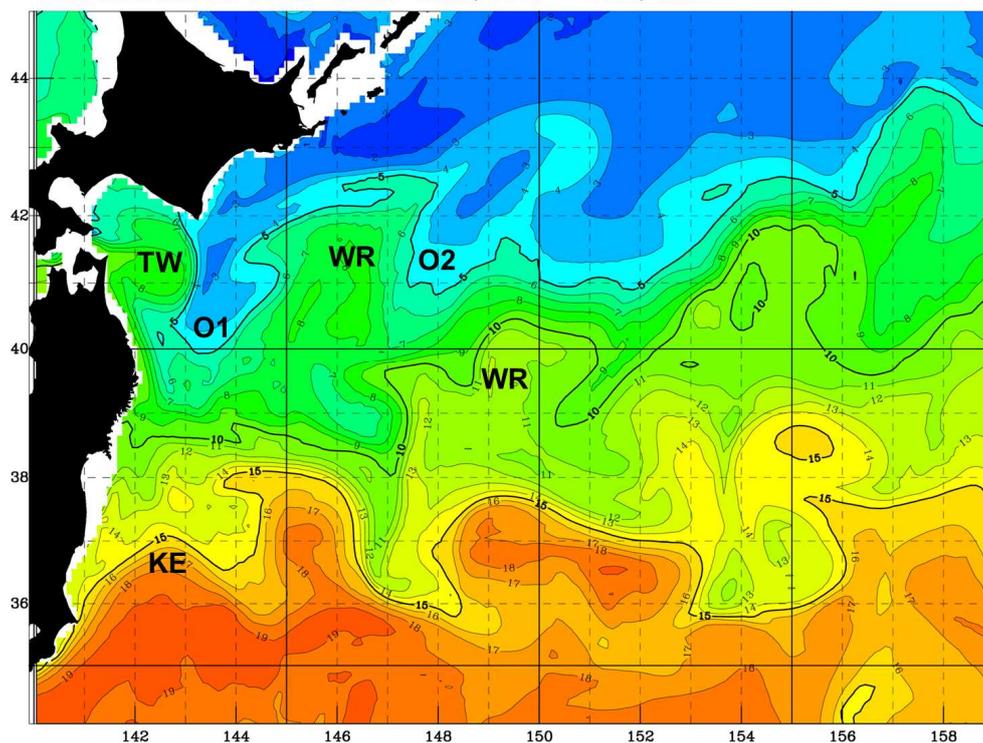
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

3月上旬予測水温分布図



2月上旬現況水温分布図 (100m深)

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2021/0201 - 2021/0210



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p>
--	--